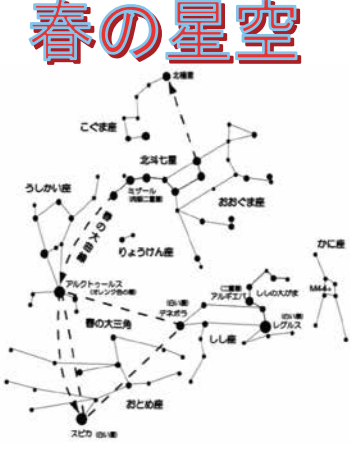


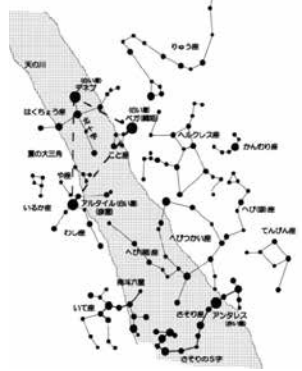



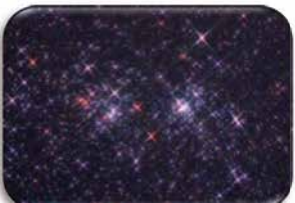

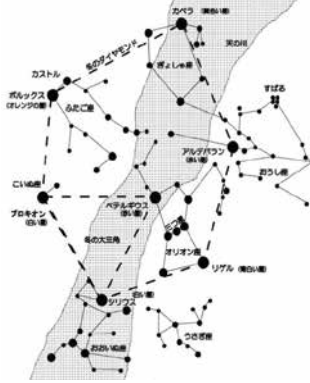






月	月・惑星 (天文館で観望可能な時期)	天文館で観望できる主な天体および星空の状況	
2024 4月	2日下弦の月 9日●新月 16日上弦の月	<h2>春の星空</h2>  <p>星のつながり 春の星座を探すには北斗七星が目印です。柄の部分を大きく伸ばし、春の大曲線をたどって春の大三角を探してみましょう。</p> <p>星座 かに座 しし座 おとめ座 てんびん座 うしかい座 おおぐま座</p> <p>恒星 レグルス スピカ アルクトゥールス</p> <p>二重星 ミザール (おおぐま座) コルカロリ (りょうけん座)</p> <p>イザール (フルケリマ) (うしかい座) ポリマ (おとめ座)</p> <p>散開星団 M44 (かに座)</p> <p>球状星団 M3 (りょうけん座)</p>	
	24日〇満月 1日八十八夜 下弦の月 8日●新月 15日上弦の月		<p>ミザール</p>  <p>球状星団 M3</p> 
	23日〇満月 31日下弦の月 6日●新月 14日上弦の月		
7月	6日●新月 7日七夕 14日上弦の月	<h2>夏の星空</h2>  <p>星のつながり 夏の星座探しには頭上に輝く3つの星で作る夏の三角形が手掛かりです。天気が良いと天の川も見られます。</p> <p>星座 はくちょう座 こと座 わし座 さそり座 いて座 ヘルクス座</p> <p>恒星 ベガ テネブ アルタイル アンタレス</p> <p>二重星 アルビレオ (はくちょう座) ダブルダブルスター (こと座)</p> <p>球状星団 M13 (ヘルクス座) 散開星団 M11 (たて座)</p> <p>惑星状星雲 M57 リング星雲 (こと座)</p>	
	21日〇満月 28日下弦の月 1日~7日星空に親しむ週間 4日●新月 10日伝統的七夕 13日上弦の月		<p>アルビレオ</p>  <p>M57リング星雲</p> 
	20日〇満月 26日下弦の月 3日●新月 11日上弦の月 17日中秋の名月 (十五夜) 18日〇満月 25日下弦の月		
8月	3日●新月 11日上弦の月 17日中秋の名月 (十五夜) 18日〇満月 25日下弦の月	<h2>秋の星空</h2>  <p>星のつながり 秋の星座探しには、秋の四辺形が目印です。秋の夜空を飾る淡い光の星をたどります。</p> <p>星座 やぎ座 みずがめ座 うお座 おひつじ座 アンドロメダ座</p> <p>恒星 ベガス座 カシオペア座 ベルセウス座</p> <p>恒星 フォーマルハウト ガーネットスター</p> <p>二重星 アルマク (アンドロメダ座) メサルティム (やぎ座)</p> <p>散開星団 h-x 二重星団 (ベルセウス座)</p> <p>銀河 M31 (アンドロメダ銀河)</p>	
	24日下弦の月 1日●新月 9日上弦の月 16日〇満月 23日下弦の月		<p>h-x</p>  <p>M31 アンドロメダ銀河</p> 
	1日●新月 9日上弦の月 15日〇満月 23日下弦の月 31日●新月		
2025 1月	7日上弦の月 14日〇満月 22日下弦の月 29日●新月 5日上弦の月	<h2>冬の星空</h2>  <p>星のつながり まぶしいほど明るい冬の1等星を結び冬の三角形や冬のダイヤモンドを目印に、冬の星座や天体を探してみましょう。</p> <p>星座 オリオン座 おうし座 ぎょしゃ座 ふたご座 おおいぬ座</p> <p>恒星 シリウス ベテルギウス リゲル アルデバラン ケベラ</p> <p>二重星 カストル (ふたご座) 四重星 トラペジウム (オリオン座)</p> <p>散光星雲 M42 オリオン大星雲 M78 (オリオン座)</p> <p>散開星団 M45 プリアデス星団《すばる》 (おうし座) M35 (ふたご座)</p>	
	12日〇満月 21日下弦の月 28日●新月 7日上弦の月 14日〇満月		<p>M45 プリアデス星団 (すばる)</p>  <p>M42オリオン大星雲</p> 
	22日下弦の月 29日●新月		

観望のご案内

開館時間	13:30~21:00	最終入館時刻	20:30	時間帯	観望内容
観望時間	50分程度（各回入替制）予約優先です			昼の観望 13:30~16:30	☆太陽の観望 口径10cmの専用望遠鏡でプロミネンスや黒点を見ます。 ☆惑星・恒星の観望 口径65cm望遠鏡で観望します。日中でも明るい惑星や恒星を見ることができます。年・季節・時間帯によって見える天体が変わります。 ☆平面型プラネタリウム観賞 「季節の星座」などを上映します。 ※曇天・雨天時は星が見えませんが、短縮したプログラムとなります。
休館日	毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館） 祝日の翌日（日曜日にあたる場合を除く） 年末年始（12月30日~1月3日） （メンテナンスや悪天候により臨時に休館になることがあります）			随時受付です。 時間：約50分間	
入館料	通常 大人300円 小人(小中学生)100円 団体 10名以上 大人240円 小人80円 割引 自然観察館共通 減免制度 以下の手帳をお持ちの方は本人及び介護者1名が無料となります 身体障害者手帳・養育手帳・精神障害者保護福祉手帳			冬季限定観望 17:10~18:00	10月~2月のみ実施です。
事前予約	小中学生やその他の団体予約利用のため、入館できない場合があります。事前に電話での予約をお勧めします。 時間外の団体特別観望も電話にてご予約ください。 TEL 0287-28-3254			第1回観望 18:10~19:00	3~9月は薄暮の観望 ※ ☆惑星・恒星・星雲・星団の観望 種類の違う望遠鏡を活用し、月や惑星を中心に、二重星や星雲・星団を観望します。テラスでは実際の星空で星座解説も実施します。季節によって見える天体が変わり、年間を通して楽しめます。
				第2回観望 19:10~20:00	5~8月は薄暮の観望 ※ ☆平面型プラネタリウム観賞 「季節の星座」などを上映します。
				第3回観望 20:10~21:00	※曇天・雨天時は星が見えませんが、短縮したプログラムとなります。
				※薄暮の観望では、月、明るい惑星、明るい恒星の観望が中心となります。	

2024年度 イベント一覧 ※開催日時等が変更になる場合もあります。 【スペシャルイベント】

月/日	時間	イベント名
6/15・16	13:30~21:00	県民の日無料開放（16日月撮影会 20:10~も無料です）
7/19・20・21	19:00~21:00	小学生向け工作教室「手作り望遠鏡で月を見よう！」
8/12	19:00~21:00	ペルセウス座流星群観望会
10/19~25・27	18:10~19:00	彗星を見よう ~紫金山・アトラス彗星~
12/8	18:00~19:30	土星食観望会 ~月に隠される土星を見よう~
12/14	19:00~21:00	ふたご座流星群観望会

【イベント】時間帯の表示：1~3は第1回~3回観望。時刻表示は特別実施時間

月/日	時間帯	イベント名
4/21, 5/19, 7/14, 8/18, 9/15, 11/10, 1/12, 2/9, 3/9	3	📷月撮影会（ホームビデオカメラ・一眼カメラで月を撮影）
4/12~14, 5/10~12	19:40~21:00	春の星座観望会（しし座から春の星座を探す）
4/26~5/6	19:40~21:00	小学生向け春の星座教室（北斗七星から星座を探そう）
7/26~28, 8/23~25, 8/30~9/1・6・7	19:40~21:00	夏の星座観望会（天の川も見よう）
8/1~8/3・6~9	19:40~21:00	小学生向け夏の星座教室（夏の三大角から星座を探そう）
9/17	2・3	中秋の名月を見よう（ほぼ満月と土星の大接近）
9/27・28, 10/1~4	2・3	土星を見よう
9/29	19:10~21:00	📷天の川を撮影しよう
10/5	19:10~21:00	📷M31 アンドロメダ銀河を撮影しよう
10/11~14・16・18	19:40~21:00	小学生向け月観望会（月のクレーターを見よう）
10/17	2・3	スーパームーンを楽しもう
10/22~25・27・29~11/1・4	19:40~21:00	秋の星座観望会（土星も見られる秋の夜空）
10/26	19:10~21:00	📷木星・土星を撮影しよう
11/2	19:10~21:00	📷ペルセウス座・カシオペア座を撮影しよう
11/22~30, 12/3~5	2・3	木星・土星を見よう
12/21	19:10~21:00	📷オリオン座・ぎょしゃ座を撮影しよう
1/4~5・17~19	18:10~19:30 19:40~21:00	小学生向け冬の星座教室（冬の三大角から星座を探そう）
1/25	19:40~21:00	📷M45 プレアデス星団（すばる）を撮影しよう
1/31~2/2	17:10~18:00	土星の環を見よう（環はまだ見えるかな?）
1/24~26・31・2/1	18:10~19:30 19:40~21:00	冬の星座観望会（冬の星座はオリオン座から） ※1/25は18:10~19:30のみ
2/22	19:10~21:00	📷M42 オリオン大星雲を撮影しよう
3/22	19:10~21:00	📷冬の三大角を撮影しよう

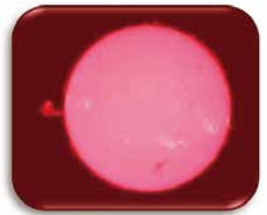
【街角観望会】（時間が変更となる場合もあります。悪天候の場合は中止となります。）

月/日	時間	場所
4/20, 5/26, 7/28, 9/8, 11/9, 3/8	13:30~16:00	大田原市中央多目的公園・ 栃木県なかがわ水遊園・道の駅那須与一の郷

太陽の黒点や

プロミネンスを見よう

昼の観望のメインは何と言っても太陽です。地球に一番近い恒星、太陽表面の黒点や、地球を飲みこんでしまうほどの大きさのプロミネンス（紅炎）も見られます。迫力ある姿をお楽しみください。



月を楽しもう

~クレーターを見る~

大型望遠鏡で見る月のクレーターは迫力があります。少し欠けた状態の時のほうがクレーターの影が際立つので、観察のチャンスです。眩しいほどの月の光をご覧ください。月撮影会もあります。

小学生向けのイベントも多数

小学校の授業で天体について学習をします。天文館では、学習を深めてほしいと願い、小学生向け観望会を用意しました。内容は、季節の星座を探す星座教室と、月のクレーターを探る月観望会です。夏休み前には工作教室「手作り望遠鏡で月を見よう」も実施します。ぜひ親子でご参加ください。

8/12（月）ペルセウス座流星群観望会

今年のペルセウス座流星群は、12日の23時頃に極大を迎えます。条件が良ければ1時間に50~60個の流星が出現する可能性があります。夜遅くなるほど放射点が高くなるので、期待して夜空を見てみましょう。

10下旬 彗星を見よう

（紫金山・アトラス彗星）

9月28日に近日点を通過した紫金山・アトラス彗星は、肉眼でも確認できるくらいに明るくなると予想されています。10月中旬ごろから日没後の西の空に見え始め、次第に観察しやすくなります。初めて太陽に近く姿に期待しましょう。10月19・20日には写真撮影にも挑戦します。
ZTF 彗星（2023）→



12/8（日）土星食観望会

土星が月に隠される土星食を観望します。この日は上弦の月で、土星は月の暗い部分に入り、明るい部分から出現します。少しずつ隠れ、少しずつ姿を現す土星の姿をお楽しみください。

12/14（土）ふたご座流星群観望会

今年のふたご座流星群は14日の10時頃に極大を迎えます。残念なことにはこの日は月明かりの影響を受け、見にくくなってしまいます。なるべく月明かりが直接目に入らない方向に注目して流星群を楽しみましょう。



大田原市ふれあいの丘天文館

〒324-0024 大田原市福原1411-22

TEL: 0287-28-3254

<https://www.fureai-tenmonkan.jp>